

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第9回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○ 自主的審議事項（公開）

・春日山城跡の観光振興策について

3 開催日時

令和5年12月19日（火）午後6時30分から午後7時40分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第2会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：市川 優、太田一巳（会長）、岡本重孝、白濱昭博、田中裕子（副会長）、
谷 健一、藤田晴子、本多俊雄、丸山佳子、吉田 実（副会長）、吉田義昭、
渡部忠行（欠席5名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【渡邊係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

- ・挨拶

【渡邊係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

- ・会議録の確認：渡部委員に依頼

次第3 議題「(1) 自主的審議事項」の「春日山城跡の観光振興策について」に入る。
事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

- ・資料No.1 に基づき説明
- ・①来訪者（観光客）だけでなく、市民（地域住民）にとってもメリットがあり、課題の解決に結び付くこと、②既存の活動や資源の活用を前提に新規提案を織り込むこと、の2点を意識して資料No.2 を作成したことを説明の上、資料No.2 について説明

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

【吉田副会長】

簡潔にまとめていただいた。

【市川委員】

道路状況や駐車場不足に伴う交通渋滞が課題と記載されているが、何を根拠にしているのか。意見書に記載したことは非常によいが、現在、埋蔵文化財センターから謙信公銅像下まで車両通行止めにするマスコミで報道されている。理由が明確でなく、地域住民もよく分からない状況で、自家用車で上に上がれないとはどういうことだという意見が出ている。地元への説明会ということで、本日午後、春日地区町内会長連絡協議会に対して魅力創造課から説明があったが、納得できない。駐車場が無いのは意見書にしっかりと記載があるので分かるが、交通渋滞が地域住民にどのような影響を及ぼしているのか、ある程度根拠を示さないとこの意見書もいかなものかという感じがする。

【吉田副会長】

これは観光分科会の意見であるが、「天地人」などNHKの大河ドラマがあった時には観光客が大勢来られて、春日山周辺の道路が渋滞し地元が迷惑したということがあり、それを記載した。今回の市議会でも、あくまで渋滞したときに通行規制を行うと聞いた。今後は、観光客が増えても渋滞を起こさせないという、地元配慮した観光振興を目指さなければいけないということを記載している。

【渡邊係長】

前回の協議会でも通行規制等の件で議論があったが、協議会としては、あくまでもハ

ード整備での解決を望むと整理した。意見書 2 頁の 2 番に「駐車場や車道拡幅等の整備が必要です。」とあるように、協議会が通行規制の導入等を後押ししていると誤解されないよう記述している。

【市川委員】

地域住民や観光客が埋蔵文化財センターから謙信公銅像下まで歩くとなると、非常に厳しい。この間、車両通行止めという言葉が独り歩きをしている。意見書の取りまとめに際して、魅力創造課と協議したのか。それで車両通行止めとなってしまったのか。

【渡邊係長】

地域協議会の意見と、魅力創造課で作成中の計画とは一切すり合わせていない。地域協議会の意見としてまとめている。ただ、協議会の提案内容については、先に魅力創造課にも伝えているので、もしかしたら、担当課の方がピックアップしている部分があるかもしれない。

前回の協議会では、シャトルバス導入などの計画に対して、地域協議会がそれを後押ししているように受け取られたくないとのことだったので、あくまでもハード整備ということで意見書に記載している。

【太田会長】

通年観光に関して、行政で考え方を計画にまとめる作業を進めていて、その内容に対して議会からいろいろな意見が出ている。地域協議会は、その流れに乗るのではなく、春日山の観光振興策や不便な部分の解決という、春日地区の住民の思いを伝える。行政には行政の考えがあり、食い違う部分もあると思うが、春日区地域協議会としては、交通対策はシャトルバスではなく、ハード面で駐車場の整備や道路の拡幅を取り組んでほしいという思いを意見書で伝えていく。市担当課では埋蔵文化財センターから車両通行止めにし、シャトルバスを運行するという考えを示しているが、春日区地域協議会としての思いを伝えるためにこの意見書を作成しているので、行政は行政、協議会は協議会で、別な思いでよいと考える。委員の意見を求める。

【吉田副会長】

資料No.3 の 5 頁に記載されているが、謙信公銅像前にはスペースが無く、駐車台数が足りない。これは過去 2 回、私たち委員が現場視察した結果を情報提供している。現場視察で見つけた、愛宕谷公園や大手道公園を活用し、駐車場を分散させて足りないところは拡充しようと提案している。私たちは通行規制については記載していない。それは

市が考えたことだ。

【太田会長】

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、次に移る。

【渡邊係長】

- ・資料No.3 に沿って資料No.2 について説明
- ・資料No.3 の修正箇所について説明

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

【谷委員】

既存の活動を活用した計画はよいが、先ほど話があったように時間がかかる。それはこつこつとやっていかななくてはならないが、その間に何をするかというのも大事である。既にある活動や団体を活用して、実現するまでの繋ぎとしていくのも必要だ。その辺も考慮していただくとよいと思う。

【太田会長】

この春日の地には様々な活動団体があるので、意見書では具体個別的な団体名を挙げずに、それらをまとめて人材確保という表現にしている。

【谷委員】

「越後謙信きき酒マラソン」は、青年会議所が春日山を題材に開催している。具体的に取り上げれば、春日山をPRする絶好のチャンスになるのではないか。

【太田会長】

青年会議所や商工会議所のほかに、春日山城跡保存整備促進協議会も春日中学校も春日小学校も春日山の保全のために様々な活動を行っている。既存のいろいろな活動団体があるので、具体的な団体名は挙げていない。そして、「持続可能な観光振興に向けた資源の活用」というのは、その人たちに頑張ってもらいたい、既存の様々な行事もそのまま継続し、盛り上げてもらいたいという思いを含めてこのような表現になっている。

春日区地域協議会は、個別の団体を応援していると誤解されないよう、その辺も考慮して、このような表現にしていることをご理解いただきたい。

【吉田副会長】

資料No.3の10頁、フラワーパーク構想の一番の根底について。ものがたり館付近は一部復元してあるが、春日山城周辺で発掘して復元できるのは監物堀と土塁ぐらいである。山城はあまりにも昔のものなので図面も何もない。山城の専門家に聞いたところ、春日山周辺はあまり発掘調査をしていないとのこと。山の杉を伐採し、屋敷跡だったところをきちんと発掘調査すれば柱の跡が出てくるだろう。そうすると建物の規模等が分かるので、まず監物堀を復元して水を張り、そこにカキツバタなどの水生植物を育てていく。監物堀は根拠を基に復元していける可能性があるので記載した。

今回は話題にしていないが、御館の乱で春日山の麓にあった屋敷や町が燃えてしまった。京都に次ぐ大都市であった春日山が灰になってしまった。高田や直江津には旧町名の看板や標識があり、春日山の麓にも「山屋敷」など、それらしき地名は残っているので、次の第5期の委員に詳しく調査して知ってもらうことを期待したい。

それから、今後はSNSを活用した観光振興の取組が必須だ。海外に情報を発信できる。春日山の魅力、上杉謙信の人となりや教えをSNSでも発信すべきだ。若い人にもっとこのような活用の提案を進めてもらいたい。

【太田会長】

「モノ・マガジン」という雑誌の12月・1月号に謙信公祭の記事が掲載されている。私たちの知らないところでも、全国的に謙信公祭や春日山は、本当に好きな人には注目されているので、地元の住民からもう少し関心を持ってもらえるような春日区、春日山にしていきたいと思う。またその発信も、この協議会の委員の一つの役目なのではないかと考える。

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で、次第3議題「(1) 自主的審議事項」の「春日山城跡の観光振興策について」を終了する。

次に、次第3議題「(2) その他」に入る。

【渡部委員】

春日山荘では高齢者向けの趣味講座があり、ワークパルでも沢山の講座が行われているが、12月で全て終了してしまう。冬期間は、遠いところから来るのが大変だから中止していると以前聞いたことがある。車社会なので、できれば延長して欲しい。講座から個人レッスンに移るなど中途半端になってしまう。さらに展示会場が高田になってしま

い、遠くに行くことができない。いろいろなことを学習しているのに、全て打ち切られてしまっている。その辺を何とかしてほしいと周りから要望された。

意見書は非常に素晴らしい。早く市長に提案してもらいたい。3月近くになって市から返答が来ても、我々は何もできない。

私から二つ要望がある。一つ目は、意見書を早く提出して市の回答をもらい、それに対して考える時間が設けられるとよいということ。二つ目は、自主的審議事項で「安全・安心に暮らせる」、「あらゆる世代が心豊かに暮らせる」とあるが、例えば今、ひとり暮らし高齢者宅の火災が多く、そういうことへの対応など、まだまだ審議したいことが沢山あるということだ。

春日山に関する意見書は素晴らしいので、早く審議を終了し、是非とも新たな課題について審議を行うべきである。

【小林所長】

委員の要望に回答する。一つ目の意見書の速やかな提出については、事務局で正副会長と協議を行い、然るべき時期に提出する。

二つ目の地域課題について、どこの地域にも多岐に渡る課題があり、それを全て網羅して審議することはできないので、テーマを決めてここまで協議してきた。これまでも安全・安心部会、福祉部会とそれぞれ実績を作られ、最終的に観光のこの大きな課題を皆で考えようということが進んできた。残された任期が少なくなっているので、次期協議会の委員から審議できなかった地域課題を協議していただきたい。

【渡部委員】

今の件、十分に理解する。また、事務局にお願いしたいのは、令和6年度分の地域独自の予算に関し、どういう事業が提案され、何を実施するのか、情報が欲しい。

【小林所長】

地域独自の予算は市の予算であり、その内容については、3月議会で当初予算案を公表した段階で皆さんに報告する予定である。

【太田会長】

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、次第3議題「(2) その他」を終了する。

次に、次第4その他の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

意見書の回答が届き次第、委員の日程を確認し、次回地域協議会の開催日を決定したい。

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第4その他の「(1) 次回開催日の確認」を終了する。

次に、次第4その他の「(2) その他」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

活動報告会（案）について説明する。市内全ての地域協議会で2月頃に活動報告会を開催する。地域住民を対象に4年間の活動を報告する。

- ・日 時 令和6年2月18日（日）午後2時から1時間30分程度
- ・会 場 上越市市民プラザ 第1会議室
- ・内 容 委員の紹介及び開催実績の報告：事務局
報告事項の進行：太田会長
協議会の活動の報告：太田会長と分科会の各リーダー
- ・周知方法 広報上越2月1日号及び市ホームページに全区一括掲載。
このほか、春日区では地域協議会だより全戸配布、町内会長及び令和2年度以降の地域活動支援事業の採択団体等へ個別案内。
- ・開催後の結果及び地域協議会活動状況の周知 地域協議会だより及び市ホームページ

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

【吉田副会長】

苦勞して観光の意見書を作成してきた。説明には意見書の資料No.3を使いたい。地域住民の方にも理解してもらうためには、写真を含めた資料でないと分かりにくい。丁寧に説明したいので、観光分科会はもう少し説明の時間がほしい。

今回のような報告会は、過去には行われていない。今までは、地域活動支援事業のこれまでの成果発表と、次期委員の募集に関する説明をしていた。だから全く内容が異なる。今回は、安心・安全、福祉、観光の成果を報告する。地元町内に戻ると、この地域協議会の認知度の無さを実感する。誰も興味ないし、何をやっているのかも知らない人

が多い。やはり認知度を上げなければならない。そのために声掛けをして、多くの人に参加してもらうようにすべきである。

過去には委員定数 20 人のうち次も継続しているのは 4 人ぐらいしか残っていない。それではいけない。半分ぐらいの人が委員を継続してほしい。これだけいろいろ大切なことを審議してきた重要な会である。今後の宣伝のための活動報告会であって欲しいと思う。

【渡邊係長】

時間配分なども全て案である。後日、正副会長と分科会の各リーダーで打合せを行い、発表の内容などを協議したい。

【太田会長】

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、日程の審議に入る。

次の協議会は 1 月の定例日で開催せず、意見書の回答が提出され次第開催することとし、活動報告会を 2 月 18 日（日）午後 2 時からの開催とすることでよいか。

(よしの声)

他に何かあるか。

(無しの声)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。